

鍛冶屋町通りに妖怪現る！ どうする妖怪祭り～行くか行かないか？～

人吉球磨に残る妖怪文化を生かし、地域活性化につなげようと鍛冶屋町通りの街並み保存と活性化を計る会が主催する「どうする妖怪祭り」が行くか行かないか？」が、11月18日に同町通り一帯で開催されました。

アニメ『ゲゲゲの鬼太郎』の主人公を中心とする「鬼太郎ファミリー」に扮し、会場を盛り上げた市内在住のグループは「驚いてもらったり、喜んでもらったり、写真を撮ってもらったり」と、とても楽しい時間だった。また機会があれば参加したい」と話していました。



来場者は妖怪メイクやきつねのお面づくりなどを楽しんだ

ありがとうモゾカタウン！ モゾカタウンひとよし駅前営業終了

人吉駅前の仮設商店街「モゾカタウンひとよし駅前」で、11月3日にクロージングセレモニーと閉店大感謝祭を開催しました。同商店街は豪雨災害で被災した事業者の営業の継続と再建を支援するため、令和3年2月にオープン。11月末で営業を終了しました。

当日は感謝セールや紅白餅の振る舞いなどがあり、行列ができる店も。モゾカタウン会長で「馬場醤油店」代表の馬場貞至さんは「仮設商店街での営業は被災事業者にとって希望となり光となった」と振り返りました。



セレモニーにはここから再建を果たした事業者も集まった

復興とにぎわい願いイベント多彩 人吉温泉まつり

中心市街地の活性化やにぎわいの創出を目的に、11月12日に紺屋町・九日町一帯で「人吉温泉まつり」が開催されました。会場には飲食や射的などの出店が並んで久しぶりのお祭りムードに。「人吉よさこい祭り」が同時開催され、九州各地から集まったよさこいチームが元氣いっぱい演舞を披露しました。

夜にはふるさと歴史の広場で「人吉スカイランタンフェスティバル」が開かれ、色とりどりの約600個のランタンが夜空を埋め尽くしました。



総踊りでフィナーレを迎えた人吉よさこい祭り



復興への願いなどメッセージを書いたランタンが夜空へ



1杯200円で焼酎が楽しめる球磨焼酎フェスも開催

鉄道の魅力いっぱいの日 秋のくまてまつりin人吉駅



レールサイクルはくま川鉄道ならではの乗り物

湯前線開通100周年を記念し、人吉駅で10月29日に「秋のくまてまつり」が開催されました。レールサイクルや保守用のアルミカートで線路を走る乗車体験をはじめ、ホームでは九州ローカル鉄道のグッズ販売、歌やダンス、くまモンショーなどのステージがあり、家族連れや鉄道ファンでにぎわいました。

「人吉駅前マルシェ」も同時開催され、駅前広場には飲食や雑貨などの出店がずらり。子どもたちは鉄道模型の運転体験やジオラマづくり体験に夢中になっていました。



ホームのステージイベントにはくまモンも登場



待合室で行われた鉄道模型運転体験やジオラマ作り体験

先輩から後輩へ応援メッセージ 人吉高創立100周年記念事業

創立100周年を迎えた人吉高で、11月10日に記念式典とホームカミングデーが開催されました。ホームカミングデーは同高の魅力を多くの人に知ってほしいと創立記念事業実行委員会が企画したもので、同高出身で俳優の中原丈雄さん、TKUアナウンサーの恒松聡美さん、タレントの高村公平さんのトークショーが行われました。

先輩たちからの熱いメッセージを受け取った同高2年の日當茉耶さんは「高校生のうちにできることを何事も全力で取り組みたい」と話していました。



夢が叶うまでの経緯や恋の話などトークは縦横無尽に展開

郷土の偉人に思いを寄せて 第77回犬童球溪顕彰音楽祭

「故郷の廃家」や「旅愁」をはじめ、人吉球磨の小学校の校歌を含む360曲余りを作詞作曲した犬童球溪氏。その偉業を継承するため、犬童球溪顕彰音楽祭を11月9日に開催しました。球溪氏の銅像前で碑前祭を行った後、スポーツパレスで4年ぶりに学校発表会を開催。全員で故郷の廃家を合唱し、順番にステージに立ちました。

人吉西小6年の永田溪一郎君は「少し緊張したけれど、きれいな声で歌えてよかった」と笑顔で話し、他校の発表に熱心に耳を傾けていました。



人吉球磨の28校・1,400人が歌や楽器演奏を披露した